北広島商工会だより

令和７年１月１日号
第144号

■新春のごあいさつ
北広島商工会　会長　山田　久俊



新年あけましておめでとうございます。

会員の皆様におかれましては、輝かしい令和７年をご健勝でお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、当商工会の事業推進に対しまして、格別なるご理解とご協力をいただき、厚く感謝申し上げます。

長く続いたコロナ禍から脱し、社会経済や市民生活は通常に動き出し、また当商工会活動も活発に行われるなど活気と賑わいが戻ってまいりました。一方で、原材料・資源エネルギー価格の高騰に加え、深刻化する働き手不足等の影響により、多くの事業者、特に地域の中小企業・小規模事業者を取り巻く経営環境は依然として厳しい状況にあります。

こうした中、当商工会では、地域の中小企業・小規模事業者の最も身近な相談窓口として国・北海道・北広島市と連携し、資金繰り・生産性向上・事業継続等のための支援など、事業者に寄り添って多様な支援を行うとともに、物価高騰等により低迷している市内の消費を喚起し市内事業者を応援するため、市の補助金を活用して「キャッシュレス決済ポイント還元事業」に取り組んできました。今年も引き続き、会員を取り巻く経営課題等への対応に積極的に取り組んでまいります。

北広島市においては、北海道ボールパークＦビレッジ開業以降、多くの方々が北広島市を訪れるなど、まちの様子も大きく変わり、北広島のまちづくりの新時代がスタートし、大きな期待が寄せられています。また北西口では商業・ホテル複合交流施設が今年３月に開業予定となっており、北広島の顔となる賑わいと交流を生む拠点となります。これら、まちづくりの大きな変化は、市内商工業の発展・振興にとっての大きなチャンスであり、そして変革の時として捉え、人の流れや波及効果が地元事業者へ繋がるよう当商工会としてもしっかりと関わってまいりたいと考えております。

地域に根差した市内唯一の経営支援サービスの提供」という商工会の原点に立ち、これからも地域の事業者皆様の声をしっかりと聴かせていただきながら、市や関係機関等と連携して地域経済の牽引、中小企業・小規模事業者の支援、地域の活性化等に向けて全力で取り組んでまいります。

会員の皆様には、本年もご支援ご協力を賜りますようお願い申し上げますとともに、皆様のご健勝とご多幸を心からご祈念申し上げ、新年のごあいさつといたします。

大津町商工会では、松永商工会長と杉谷事務局長から、ＴＳＭＣの進出による影響について説明を受けました。菊陽町は市街化調整区域である一方、大津町は無調整区域のため、アパートなどの建設が相次ぎ、地価が日本一高騰しています。また、外国人移住者が令和２年と比較して1.8倍に増加し、居酒屋などの利用も増えて予約が難しくなり、交通渋滞も発生しているとのことです。

益城町は、平成29年に熊本地震からの復興状況を当工業部会で視察した経緯があり、今回は復興街づくりセンター「にじいろ」を訪問しました。この施設は、「子どもからお年寄りまで気軽に集える交流と住民活動の場」、「災害に備える場」の３つの基本方針で建てられています。



熊本地震の被災状況や復旧・復興への歩みについて学べる展示や多目的ホールもあり、放課後には小学生が遊びに来るなど交流の場として利用されています。

北広島市では、２０１８年の「北海道胆振東部地震」で大曲地区が甚大な被害を受けました。２０２３年には「北海道ボールパーク」が開業し、多くの観光客が訪れることによって渋滞も発生しています。さらに千歳市の「ラピダス」進出により今後も住宅需要の増加や企業進出も考えられます。今回の研修を通じて、大規模災害が発生した場合、復興には長い年月がかかるため、日頃から減災に取り組むことの重要性と、街づくりも長期的な展望が必要であることを学びました。

工業部会（部会長　木原　雅史）

■熊本県の大津町商工会などを訪問～道外視察研修～

11月14日から2泊3日で、部会員9名が参加し道外視察研修を実施しました。今回は、千歳市に進出した「ラピダス」の近郊市町への影響を想定し、台湾の大手半導体メーカー「ＴＳＭＣ」が進出した熊本県菊陽町に隣接する大津町商工会と、熊本地震からの復興が進んでいる益城町を視察しました。

■人材の採用について
～北洋銀行の森本支店長～

12月4日、第4回幹事会を開催しました。

今回は講師例会も兼ねており、北洋銀行北広島中央支店の森本支店長より「人材の採用について」というテーマで、講話いただきました。



森本支店長からは、「今後の労働人口が減少し２０４０年には１，１００万人不足すると予想される」、「求人は、企業が[選ぶ]から[選ばれる]に変化している」、「ターゲットを絞った募集や辞めない工夫が必要」などの説明がありました。

講師例会終了後、各委員会から次のような報告等がありました。

◇研修委員会（佐々木委員長）
①道外視察研修について
②次年度は大阪万博を視察する

◇交流委員会（米内委員長）
①部会員交流事業について
②海外交流事業について

◇経済セミナー委員会（新田委員長）
①次年度（第40回）は、伊藤聡子氏（キャスター、コメンテーター）を講師とし開催する

令和７年１月１日号
第144号

会員の状況
（部会の重複加入あり）

会員	747名（+ 3、－ 2）
商業	451名（+ 3、－ 2）
工業	352名（+ 0、－ 0）
青年	42名（+ 0、－ 0）
女性	51名（+ 0、－ 0）

★商工会だよりへの御社ＰＲ掲載、あるいはパンフレット・チラシ同封のご希望がありましたら、お気軽にお問い合わせください。（会員相互ＰＲ事業）

※＋加入人数、－脱退人数

発　行　北広島商工会事務局
責任者　事務局長　藤木　幹久
〒061-1121
北広島市中央5-7-2
TEL 011-373-3333
FAX 011-373-3212
shokokai@kitahironavi.or.jp
https://www.kitahironavi.or.jp

■新会員紹介

【商業部会】

○久蔵庵
　平松　一馬　様
　島松112－11

○㈱ヘイワ
　続石　平蔵　様
　松葉町5－9－14

○合同会社　森のパン工房ウタリ
　佐藤　修平　様
　輪厚308

謹賀新年

本年もよろしくお願いいたします

会長	山田　久俊	監事	菅原　修
副会長	冨田　辰夫	〃	山美　直美
〃	竹村　画二	〃	仲野　誠
理事	東　隆史	〃	米内　勇
〃	及川　正勝	〃	山美　幹生
〃	大谷　惠一	〃	南　仁
〃	蕪木　清文	〃	間野　和行
〃	木原　雅史	〃	松本　大輔
〃	佐々木道志	〃	古川　純
〃	澤田　佳孝	〃	拝野　敦
〃	橘　功記	〃	新田　誠
〃	辻村　匠	〃	西尾　広美
〃	藤山　正人	〃	成田　一博
〃	松本　大輔	〃	藤山　正人
〃	古川　純	〃	辻村　匠
〃	拝野　敦	〃	橘　功記
〃	新田　誠	〃	澤田　佳孝
〃	西尾　広美	〃	佐々木道志
〃	成田　一博	〃	木原　雅史
〃	藤山　正人	〃	蕪木　清文
〃	辻村　匠	〃	大谷　惠一
〃	橘　功記	〃	及川　正勝
〃	澤田　佳孝	理事	東　隆史
〃	佐々木道志	副会長	竹村　画二
〃	木原　雅史	〃	冨田　辰夫
〃	蕪木　清文	会長	山田　久俊
〃	大谷　惠一		
〃	及川　正勝		
理事	東　隆史		
副会長	竹村　画二		
〃	冨田　辰夫		
会長	山田　久俊		

ほか職員一同

青年部（部長　仲野　誠）

■婚活イベントで北広島市への移住促進や地域貢献を目指す

11月9日、青年部主催の婚活イベントを実施しました。

この事業は、昨年度に引き続き2回目の開催で、北広島市への移住促進による人口増加に加え、商工業者等の担い手創出と地元事業者との連携や地域社会への貢献を目的としています。

今回は女性に欠席者がでたため、男性15名、女性12名の参加となりました。男性陣がバスで札幌市内まで女性を迎えに行き、車内で参加者同士が席を順次変えながら会話をする形でスタート。北広島に到着してからは、Fビレッジ内にあるスイーツ店の「ビンケーキ」で軽食を共にし、さらに交流を深めました。その後クラッセホテルの最上階で夜景を望みながら夕食を満喫。ジェスチャーゲーム等のイベントも行い、参加者同士の気持ちが固まったところで告白タイムとし7組のカップルが成立しました。

参加者や事業所の方々からは好評の声をいただきました。

■大規模商業施設の視察と商工会青年部全国大会に参加～道外視察研修～



11月26日から3日間の日程で、部員10名の参加で道外視察研修を実施し、再開発が進んでいる大阪キタ地区の「グランフロント大阪」の視察と商工会青年部全国大会に参加してきました。

大阪に到着後、日本ハムファイターズとも取引があり、「グランフロント大阪」にも出店している㈱ホットファクトリー代表取締役社長の早田氏に案内していただきました。「グランフロント大阪」はJR大阪駅に直結し、ファッションやレストランなど幅広いジャンルのお店が260店舗も併設された国内最大規模のショッピングタウンです。既に規模な施設ですが、現在も開発途中ということで規模の大きさに驚かされました。

商工会青年部全国大会では、各ブロック代表の計7名の主張発表があり、自社商品PRステージでは、青年部員事業所の様々な商品やサービスが紹介され、会場内の出店ブースで購入できるようになっていました。

今回の視察研修では、国内最大規模の複合商業施設と全国各地の青年部の取り組みなどを知ることができ、当青年部の今後の活動や自社事業に大変役立つものとなりました。

女性部（部長　山美　直美）

■防災について考える～市内先進企業・市内観光資源等研修～

今回の市内先進企業・市内観光資源等研修では、防災を改めて考えることを目的に、防災食育センターと防災センターを11月7日に視察し10名が参加しました。

令和6年6月に大曲地区に完成した防災食育センターは、防衛省の助成金を活用して建設されました。災害時は8，000人に1日1回おにぎり2個と汁物を3日間提供できる分の備蓄をしており、救援物資の受け入れ時陸路での搬送が難しい場合に備えヘリポートも完備しています。災害時の支援食糧の受け入れ集積所も備えているほか、断水に備え受水設備や停電時の灯油を使用した非常用自家発電機、炊き出し用稼働燃料としてのプロパンガスも備蓄しています。普段は市内小学校8校に給食を提供しており、当日参加した部員も有料で給食を試食しました。



防災センターは北海道開発局が水防活動の拠点として整備し、市と共同で管理しており、現在シルバー人材センターが管理業務を受託しています。敷地は25，000㎡、エスコンのグラウンド2個分の広さで、敷地内にはヘリポートや資材置き場、水防資材などがあり、災害時の情報収集の場として活用できるように整備されています。敷地内には停電時に活用できるように、照明車や排水ポンプなども配備され、通常時は防災の情報発信の場として、防災用具の展示や、パネルなどが設置されています。

近年、温暖化による異常気象や地震などで「想定外」の災害が頻発しています。令和6年だけでも元旦の能登半島地震や8月の日向灘を震源とした地震に伴い、初めて「南海トラフ地震臨時情報(巨大地震注意)」が発表されました。

今回の研修では、備蓄食料を期限切れの無いよう給食に利用しているとの説明も受け、改めて食料や防災備蓄品の見直し、避難場所などを確認するきっかけになりました。

■164枚を寄贈～雑巾寄贈～

女性部では、1年を通して部員に雑巾の作成を依頼し、市内小学校へ寄贈しています。

今回は部員のほかに、明治安田生命保険相互会社からも37枚提供いただき、部員作成分と併せて164枚の雑巾を12月4日に東部小学校の児童会長に山美部長から手渡しました。



児童会長からは「たくさんの雑巾を寄贈してもらいありがとうございます。清掃で活用します。」と喜んでもらいました。

■おいしい食事で1年を振り返り～忘年会～

12月5日に忘年会を開催し、19名が参加しました。今年は商工会館前に完成したホテル「NEVER ENDLESS」に併設されているレストラン「mog」で例会と併せて忘年会を開催しました。

例会では、事業報告と併せて組織強化を目的に毎年部員へ送っている粗品を紹介。今年はカバンをテーブルにかけることのできるバッグハンガーを部員へ贈呈しました。



食事会ではおまかせでランチセットを注文し、おいしい食事を楽しみました。

◎商工貯蓄共済制度

この制度は、「貯蓄」「融資」「保障」の３つの機能を組み合わせた、商工会会員及びそのご家族、従業員の皆様のための、商工会独自の共済制度です。掛金の一部を保険料にまわし保険契約が結ばれることにより、万一の場合を保障されるとともに、掛金のほとんどは貯蓄積立金として金融機関に預けられ、利息がついて加入者のお手元に戻る仕組みとなっています。

【加入資格】商工会の会員で６歳～７０歳までの健康な方
【掛　　金】月額１口２，０００円（年齢により最高２０口まで）
【手 数 料】年額１口１，２００円（積立金より差引かれます）
【保　　障】１口につき以下の表



契約年齢	６～４６歳	４７歳～５４歳	５５歳～７０歳
保険金額	１００万円	５０万円	２５万円

○●○確定申告等相談会のご案内○●○

当会の顧問税理士である佐々木章先生が、下記の日程で確定申告等の相談に応じます。

日にち：２月１３日（木）、１８日（火）、２５日（火）、２７日（木）、
　　３月　３日（月）、　５日（水）、　６日（木）、
　　７日（金）、１２日（水）、１３日（木）、
時　間：午前１０時～１２時、午後１時～４時まで
場　所：北広島商工会館２階　会議室
相談料：無料

※職員も対応しておりますので、お気軽にご相談ください。

○●○源泉所得税の納付はお済みですか○●○

納期の特例の源泉納付期限は１月２０日（月）です。

